

令和5年度 茨城県PTA連絡協議会

# 子育てネットワーク委員会 研修会要項兼資料【子ネットなび】

## & 講演資料

### 本日の日程

13:00 ~受付

※茨城県教育庁総務企画部生涯学習課

社会教育主事 木村 美奈子 先生 よりの連絡

13:30~14:00 開会行事

14:00~15:50 講話・ワーク 他

講師 NY ライフバランス研究所(NYLB)認定

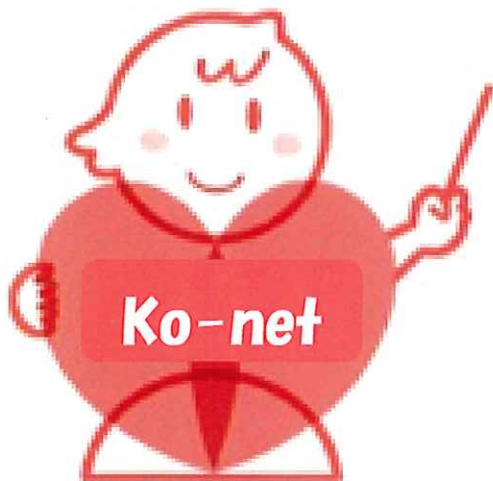
ポジティブペアレンティングコーチ、強みコーチ

NYLB ライティング担当

かわさき ゆうこ  
川崎 裕子先生

15:55~ひたちなか市長あいさつ

16:10 閉会のことば



会 場 ひたちなか市文化会館 小ホール

開催日 7月1日(土)

時 間 13:30~16:10

## 子育て(女性)ネットワーク委員会主催研修会

令和5年度の活動テーマ：『語ろう！学ぼう！助け合おう！～みんなで上げよう子育てカ～』

◆講師：NY ライフバランス研究所(NYLB)認定  
ポジティブペアレンティングコーチ、強みコーチ  
NYLB ライティング担当

かわさき ゆうこ  
川崎 裕子先生



＜講演・シェア・ワークショップのテーマ＞

### 「思春期の子どもに伝わる声のかけ方」

-親も子も幸せになる子育て-

- ポジティブ心理学や子育てのスタイルについて学ぶ
- 思春期の脳の特徴を知る
- 思春期の子どもに伝わる声のかけ方
- 親の幸せと子育て

※ウェルビーイングとは…  
「心身ともに健康な状態」  
であることです。

◆開催日：令和5年7月1日(土) 13:00～受付

13:30～13:50 開会

14:00～15:50 講演・シェア・ワークショップ(90分)及び質疑応答(20分)

15:55～16:00 閉会

◆会場：ひたちなか市文化会館 小ホール(駐車場：500台)

〒312-0056 茨城県ひたちなか市青葉町1-1 電話 029-275-1122(代表)

### ＜川崎先生のプロフィール＞

夫はカナダ人、一児の母。茨城県生まれ。幼少期は大人しく、自分の思いを口でうまく言えなかったことから、書くことで自己表現をしていた。大学時代は国際関係学と教職課程を専攻。多様性や適応の重要性を学び、親業(ペアレンティング)と出会う。新卒より勤めた約18年間の公務員生活では、延べ2万4千人に対応。その間に「共感」「自律性」「相手への畏敬の念」の大切さを実感する。結婚10年にして出産。育休中は子育てサークルで「子連れで海外旅行講座」を担当。夫の海外赴任でイギリスに在住し、その間はイギリス最大の子育て支援団体でボランティア活動やママライターとしてイギリスの子育て事情を伝える。帰国後、仕事復帰したがワンオペ育児の限界を感じ、退職。住み慣れない土地で戸惑う最中に松村亜里と出会い、ニューヨークライフバランス研究所の子育ての講座を受講。最新のエビデンスに基づいた内容に感銘を受け、同時期に3講座受講など夢中で学び続けた結果、コーチやライティング担当となる。現在はポジティブ心理学の学びをライティングなど様々なツールを通じて広める活動を行っている。市や区の子ども・子育て審議委員や男女共同参画推進委員も歴任。

◆連絡先：茨城県PTA連絡協議会 担当：大和田、大関 メール：webmaster@ibarakiken-pta.ne.jp

Tel: 029-227-4779 / Fax: 029-231-3878

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号 茨城県三の丸庁舎3階



# 子育てネットワーク委員会なび 1

令和5年度（2023年度）の私たちの活動スローガンは

## 『語ろう！学ぼう！助け合おう！～みんなで上げよう子育て力～』

### 【活動スローガンに込める想い】

コロナ禍での活動から徐々に以前の活動に戻りつつある今、何をどうしたらいいのか迷っている方が多いのではないのでしょうか？

本年度の活動スローガンにあるように、子育ての悩みや私たちを取り巻く身近な問題を共有し、みんなで語り合うことによって安心して子育てができる環境づくりに少しでもお手伝いができればと考えております。

私たちが本年度活動スローガンを

「語ろう！学ぼう！助け合おう！～みんなで上げよう子育て力～」と掲げた理由は子育てネットワークの力でたくさんの方とふれあいながら子育ては自分一人じゃない！！という気持ちで人と人とのつながりを大切に、助け合いながらみんなで子育て力をあげていける活動をして参りたいと思っております。

## 子育てネットワーク委員会になるまでの経緯

本委員会は、母親委員会の設置から女性ネットワーク委員会への変遷を経ながら、子どもたちの豊かな心と生きる力を育むために、保護者の役割について考え、『家庭の教育力向上』を目指す活動を展開してきました。その時々々の社会状況を考慮し、子どもの成長にとって大切と思われる内容を選び出し、家庭の教育力向上（子育て）に役立つテーマを設定し、研修を進めてきました。

しかし、近年、働くお母さんたちの割合が増え、子育てにもお父さんの協力が必要な場面も多くなる一方で、お母さんひとりで、お父さんだけで子育てをしている家庭、時にはおじいちゃん、おばあちゃんが保護者の役割を担うなど、家庭での教育（子育て）に関わる人たちも多様になってきています。

今、私たちは「本委員会の活動にも、多様な立場からの考えや視点を取り入れることの大切さ」を感じています。家庭での教育（子育て）に関わる多くの人たちに本委員会の活動に目を向けていただき、『一緒に家庭教育力を高め、子どもたちの豊かな心と生きる力を育てていきたい』と考えています。

子どもがすくすくと育つには、『保護者が安心して子育てができる環境づくりや子どもを育てる保護者の心が豊かになる取り組み』が大切です。また、家庭の教育力向上は、先生の負担の軽減（『働き方改革』）にも繋がっていきます。私たちは、そのような環境づくりに貢献していきたいと思っております。

その一環として、令和4年度より「子育てネットワーク委員会」と名称を変更し、当面、現在の組織を生かしながら、家庭での教育（子育て）に関心を持つ皆さま（例：お父さん等の参加）も加え、3年間かけて、よりよい組織づくりと活動内容の更なるブラッシュアップを図っていききたいと考えています。

# 子育てネットワーク委員会なび 2

## 【子育てネットワーク委員会のあゆみ】

第1期（昭和54年～）○昭和54年・・・「母親委員会」として発足

目的 ・県執行部へ女性会員の意見の反映 ・母親としての資質向上

第2期（平成15年～）○平成15年「女性ネットワーク委員会」として名称変更

☆幅広い女性への情報発信の意味から名称変更

目的 ・女性の視点で学んだ情報を口コミで伝える。 ・課題を設定した具体的活動の推進

第3期（令和4年度～）○令和4年「子育てネットワーク委員会」に名称変更

☆子育てにかかわる多様な立場からの考えや視点を取り入れましょう。

目的 ・家庭での教育（子育て）に関わる多くの人たちと一緒に家庭の教育力を高め、  
子どもたちの豊かな心と生きる力を育てていきたい。

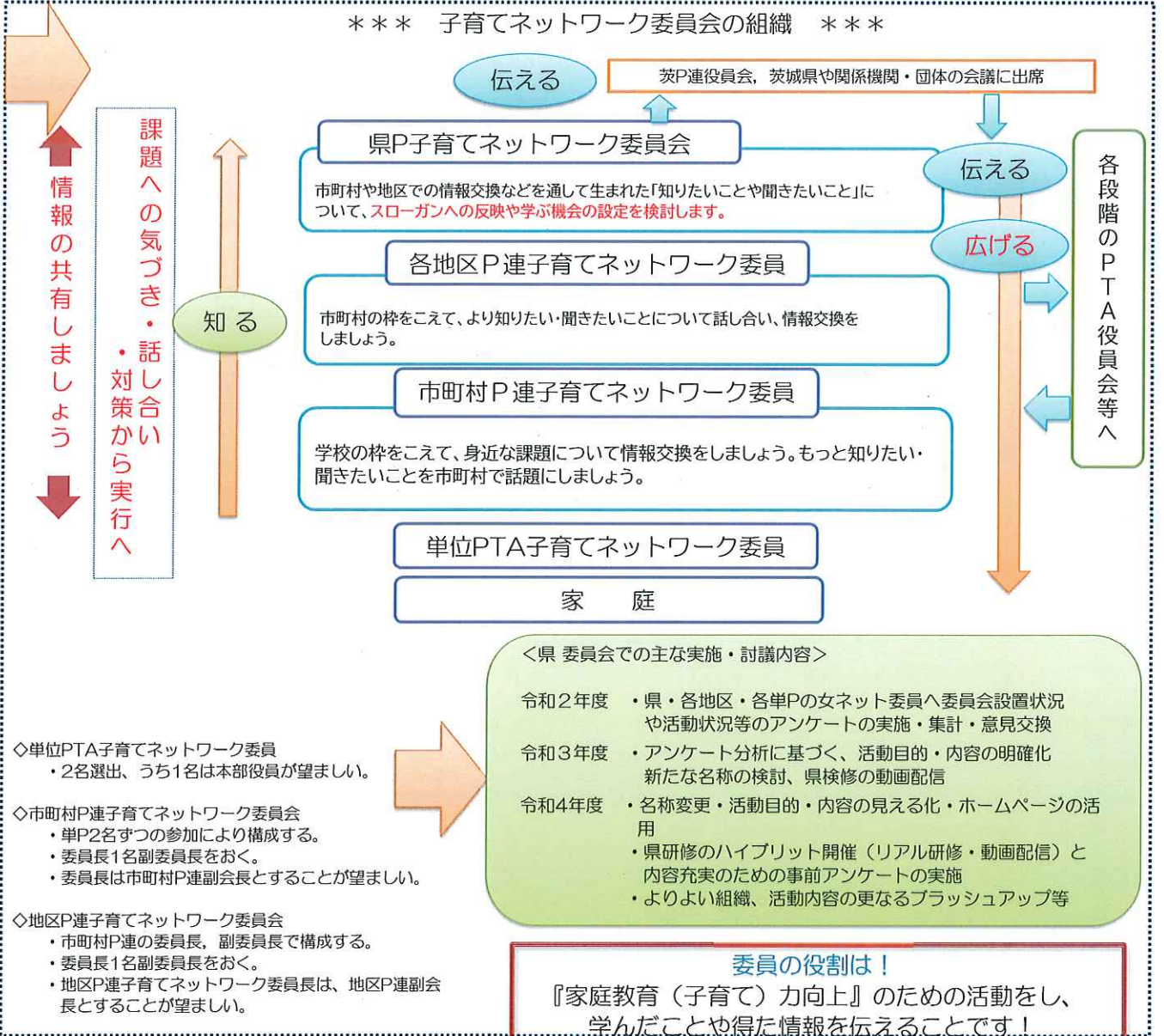
## 【これまで取り組んできた内容（スローガンとともに）】

- 平成15～16年度・・・食育 ・「食」を見直し大切さを学び伝える。
- 平成17～18年度・・・子どもを取り巻く有害環境 対策
  - ・ケータイ・インターネットに潜む危険から、子どもたちを守る。
- 平成19～20年度・・・自尊感情
  - ・「かけがえのないたった一人のあなた」であることを伝える。
- 平成21～22年度・・・家族のきずな・コミュニケーションの再生
  - ・愛情のWA（和・話・笑・環・輪）を紡ぎながら我が家のかたちを築く。
- 平成23年度・・・命の尊さを伝える
  - ・あたりまえの日常への感謝、かけがえのない命の大切さを伝える。
- 平成24～25年度・・・自立へ導く親の役割
  - ・ありのままのわが子を受けとめ、信頼関係を深めながら自立へ導く親の役割
- 平成26～27年度・・・親と子の自己肯定感・自尊感情を高めるために
  - ・親も子どもとのつながりを大切しながら育ちあう。
- 平成28年度・・・親と子の自己肯定感・自尊感情を高めるために参加型研修を取り入れた学び合い
  - ・親も子ども学校、地域の人とのつながりを深めながら育ちあう。
- 平成29年度・・・学ぼう！伝えよう！大切なこと！ ・子どもたちの豊かな心と生きる力を育むために
- 平成30年度・・・「コミュニケーションについて」
- 平成31年度（令和元年度）・・・「大切な我が子を守るために」
  - ・子どもとのコミュニケーションを考えよう
- 令和2年度・・・「大切な我が子を守るために」 ・子どもとのコミュニケーションをもっと考えよう
- 令和3年度・・・親子のコミュニケーションを深め、子どもの心を見つめよう
  - ～様々なかたちのコミュニケーションツールを活かして～
- 令和4年度・・・『親も子どもも笑顔になりたい ～そのために今できること～』

◎令和5年度 語ろう！学ぼう！助け合おう！～みんなで上げよう子育て力～

# 子育てネットワーク委員会なび 3

\*\*\* 子育てネットワーク委員会の組織 \*\*\*



このような会議に関わっています。

茨城県スポーツ振興審議会  
つくろう料理コンテスト  
茨城県優良図書選定委員会  
茨城県図書館協議会  
茨城県水戸生涯学習センター運営協議会  
茨城県給食会広報編集委員会  
茨城県学校給食会評議員会

茨城県学校給食用牛乳供給事業推進会議  
茨城県家庭教育推進委員会  
茨城県少子化対策推進県民会議  
茨城県青少年健全育成審議会  
茨城県食育支援連絡会  
学校給食用製品開発選定委員会  
茨城県ひきこもり相談支援連絡協議会 他

# Q&A

Q：子育てネットワーク委員会や研修会には、男性が出席・参加してもよいのですか？

A：子育てネットワーク委員会や研修会は、子育てネットワーク委員だけに限定されるものではありません。子育てネットワーク委員会は、PTA連絡協議会の常置委員会ですので、子育てネットワーク委員会の活動にご理解、ご協力していただける方なら参加できます。

Q：スローガンは、誰が決めているの？

A：各市町村や地区の子育てネットワーク委員会での情報交換の場などで聞かれた問題について取り上げていくようにしています。最終的には県の子育てネットワーク委員会でそれぞれの地区から出てきた課題について、今どんなことが子どもたちにとって喫緊の課題なのかを話し合い、スローガンとして掲げていきます。なお、各市町村や地区においては、県のスローガンを用いてもけっこうですし、それぞれの市町村や地区での課題や取り組みたいことなどを、独自のスローガンやテーマとして設定して取り組まれてもかまいません。

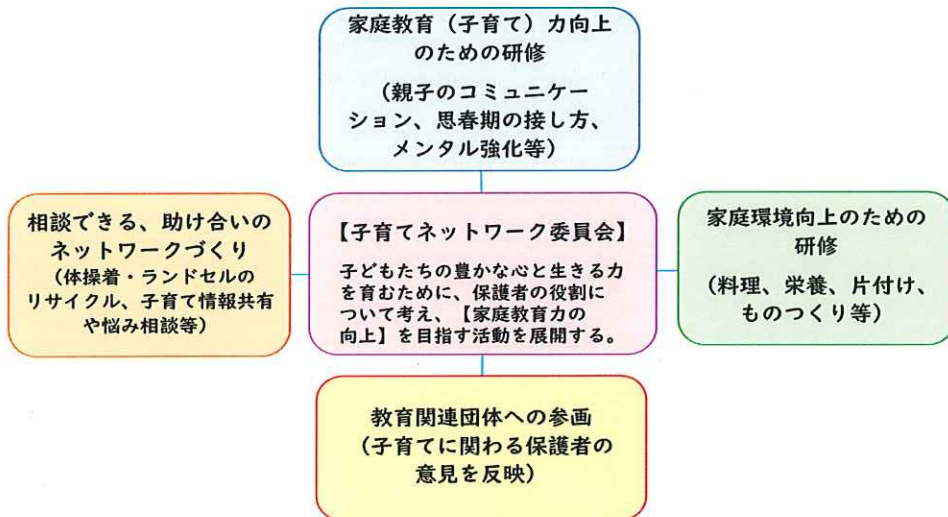
Q：具体的に、学校で情報を伝えるためには何をすればいいの？

A：新型コロナウイルス感染拡大防止のために、直接、顔を合わせて伝える機会も少なくなっているかと思います。「伝える」ために何か新たなものをつくるのは、大変かと思いますが、現在あるもの（例 PTA広報紙等）をご利用いただければ幸いです。タイムラグがでることもありますが、このような時期ですので、ご理解いただけるかと思います。

Q：コロナ禍の中、他の市町村や地区の委員会ではどんなことをしているの？

A：県内の市町村・地区では、オンライン研修会の開催、研修会の縮小開催、市長・町長・教育長との懇談の開催、「家庭で取り組む弁当の日」の実施、給食センター視察などの実践例があります。コロナ禍ですので、いつも通りが難しいタイミングもありますが、無理せず、できることから活動してみましょう。市町村や地区での委員会の集まりで、子育てに関する悩みなどを情報交換し合うこともよろしいかと思います。

## ◆子育てネットワークの主な活動内容



## ～つながる子育てネット～ 学んだことはPTA会長さんにもお伝えしましょう。

\*私たちの活動は、情報をつなぐために人と人との結びつきが大切になってきます。情報を共有するためにも、学校のPTA会長さんはもちろん、本部役員さん、市P連役員さんともつながりを大切にしながら活動を進めていきましょう。また、取り組みを展開する際には、会長さんや校長先生に事前に一言伝えて始めると円滑に進みます。

\*学校のPTA活動の中では、より多くの保護者に得た情報を伝える機会をつくっていくことで、子育てネットワーク委員会への理解も深まります。情報が「保護者に必要な情報や知識かどうか」を判断するのは難しい面もありますが、人に伝えることを通して、新たに知りたいことに気づいたり、お得な情報に接することもあります。顔を合わせて、少しずつ「伝える」機会が整えられるとよいですね。

\*PTAは、大切な子どもたちの命や未来のために活動をしています。子育てネットワーク委員会も、その支えとなる保護者が、安心して子育てができる環境づくりに向けての取り組みや子どもを育てる保護者が心豊かになれるような取り組みを展開していこうと考えています。地域の子どもの幸せは、やがて自分の子どもの幸せに結びつきます。そのためにも、より多くの人とのつながりを大切にしながら、明るく楽しい活動を展開していきましょう。

# ♡ご紹介します。

## 家庭教育応援ナビ

子育てネットワーク委員会では、

子ネット委員を対象にした家庭教育アンケートへの回答734件, 育児 4 コマ漫画 子育てエピソード提供221件の協力をしています。



## いばらき 不登校・多様な学び

### 育ち応援サイト

子ネット委員会・茨城県教職員組合女性部との学習・懇談会での講師をしてくださった皆さんのサイトです。



心とからだのこと  
(相談窓口ご紹介)